

堂 谷 津 の 里 から

8月1日、梅雨明けが発表になりました。梅雨期間の千葉市降水量は、平年より約2.5倍でした。一方で、梅雨の晴れ間が少なく、日照時間不足が、稲に悪い影響を与えないか心配されます。夏の日差しを浴びて、稲の穂が豊かに実ることを願い、収穫に向けた準備を進めています。

【田んぼでは】



5月の連休に植えた稲の苗は、6月末にはここまで生育しました。ヒメノモチの幼穂（ヨウスイ）を調べた結果、約1cmでした。約20日後には、半数が出穂（シュッスイ）すると予想されました。

7月下旬には、ヒメノモチが出穂し、30日～40日後には稲刈りの時期を迎えます。



案山子づくりを行い、また、刈り取った稲を天日干しするための「おだ」を作りました。

【ヤナギの木には】



稲刈りで会いましょう。



木の蜜（樹液）を求めてカブトムシ、チョウなどが集まっています。



【駐車場では】



刈り払機安全の基礎知識を学んだあと、駐車場の草刈りを行いました。



【堂谷津の里・百景③】



里山の斜面下には、水音が響き、ヤマユリが匂いも強く、重そうな蕾と花をつけていました。

報告

ニホンミツバチ

ニホンミツバチの飼育と保護活動をしている会員の方から、「待ち箱」という巣箱を設置したいとの依頼を受け、3月中旬、堂谷津の里に3カ所設置することにしました。運良く、1群が舞い降りて、その後、管理を続けてきましたが、残念ながら、7月中旬に引っ越してしまいました。

すでに、ニホンミツバチについて紹介する原稿を頂いていましたが、今回は、待ち箱を置く場所として堂谷津の里を選んだいきさつについて要約して紹介することにし、その生態などについては、別の機会に掲載したいと思います。

待ち箱を置く理想的な場所を見つけるために、まず、Google マップの衛星写真で目星をつけるとのことで、堂谷津の里は、田んぼの畔の形状が手作りの歪な形をしており、手植えて、無農薬にこだわっているのではと興味を持ったとのことです。

待ち箱を置く場所の条件は、多種多様な蜜源植物が豊富にあること、除草剤、殺虫剤を撒かないこと、西洋ミツバチの巣箱を設置している場所から離れていることとのことです。

来年は、堂谷津の里の待ち箱にニホンミツバチが入居してくれることを期待したいと思います。



(K.T.)

<情報コーナー>

今年の稲刈りは、新型コロナウイルス感染防止のため、会員だけの活動となります。感染防止対策を講じながら、通常作業日8月25日(火)に実施します。多くの会員の皆さんの参加をお待ちしています。

NPO 法人バランス 21

E-mail :yatosatoyama@gmail.com

URL :<https://balance21.jimdo.com/>

連絡先：千葉市若葉区谷当町 70

TEL & FAX:043-239-0645 (現地)